🥱 TOHOKU DX大賞2023 業務プロセス部門 最優秀賞

建設業における「全員DX」への挑戦 <u>ノーコード活用とデータ・</u>ドリブン経営

株式会社後藤組(山形県米沢市)

建設業 資本金9,685万円 従業員数150名

会社概要

1926年創業。"GOOD WORK, GOOD LIFE"という企業理念を掲げ、建設・不動産・リフォームまで様々な角度から地域に貢献。DXに積極的に取り組んでおり東北の建設業としては初の「DX認定事業者」となった。



全社員がアプリ作成により現場作業の効率化。 タブレットと内製アプリを利用した現場業務のデジタル化により、 現場事務所の紙書類を62%削減! 残業時間20%削減!営業利益44%増!

取組の背景は?

地方の建設業が抱える問題として「人材不足」が挙げられる。当社でも、最盛期である1991年度と比較すると、売上の基盤となる技術者数が47%減と、問題は年々深刻化している。

そこで当社が取り組んでいるのが、**DXを通したデータ・ドリブンな組織への変革**。「データを元に判断できる」組織に変わっていくことで、ベテランの勘と経験に依らない、若手社員でも活躍できる会社に生まれ変わろうと社長が宣言し、2019年から取り組みを開始した。

具体的な取組内容は?

社員全員へタブレットを配布し、現場から本社データベースへのアクセスを可能にした。さらに社員全員がkintone(サイボウズ社のノーコードツール)を用いてアプリを作成し、作業時間を削減するなど生産性の向上に取り組んだ。

社員によって作成されたアプリ数は4年間で1200件を超え、現場単位でのDXが日々生まれている。アプリ活用によって業務をデジタル化し、蓄積されたデータを元にLooker studio(Google社のダッシュボード作成ツール)で見える化・分析したり、Pythonで作成した機械学習モデルと組み合わせるなど、現場社員ならではの様々な発想によるデータ活用が拡がっている。

建設現場のペーパレス化

タブレット&アプリ利用により、

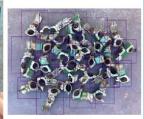
現場事務所の紙書類62%削減



画像認識による在庫管理

アプリに画像を保存するだけで棚卸しがゼロに。**月4.0時間削減**





SDGsへの取り組み

建築資材の社内リユースアプリ **月570,000円分の削減**





工夫したポイントは?

担当者だけが取り組むのではなく、「**現場社員を含めた全員でDXを進めていく**」ことを意識した。 そのために社内で以下の3つの仕組みを展開したことで、DX担当者がアプリを作成し社員に展開するという形ではなく、社員全員が自らアプリを作成し活用するようになり、より現実現場の問題に即したアプリをスピード感を持って開発できるようになった。

DX大会

全社員が一同に会しDXの成果を プレゼンする大会。優勝賞金あり。



社内認定資格制度

自社制作のデジタルスキルを測る 試験。手当&奨励金がもらえる!



DXワークショップ

社内勉強会を定期的に開催。 成績ビリが次回の講師をする。



さらに、kintone・Googleなどのクラウドサービスと自社開発プログラム間のAPI連携を活用し、機械学習や画像認識といった技術を身近な業務に落とし込むことに成功した。

そうした技術資料を社内マニュアルとして整備し、プログラミング経験のない社員でも高度なアプリ作成・データ分析ができる仕組みを構築している。

効果は?

取組の結果、**残業時間20%削減、営業利益44%増**と全社の**生産性が1.77倍**向上した。 また、ベテラン社員の技術、経験をデータ化したことで若手社員への技術伝承も進んでいる。 さらに協力会社への教育支援など自社に留まらない活動も実施し、地域の生産性向上にも寄与している。 ☆総務省クラウド実践大賞2022全国大会にて、「クラウド推進機構理事長賞」を受賞 ☆経済産業省のDX事業者認定

活用した支援は?

● 米沢市オンライン化促進支援事業費補助金(米沢市)